

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2008年8月28日から2023年8月15日まで
運用方針	安定した配当等収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	ベビーフアンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド受益証券、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。ただし、直接債券および短期金融商品等に投資する場合があります。
	マザーファンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドの各ページをご参照ください。
組入制限	ベビーフアンド マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。株式への実質投資は、新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限り、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドの各ページをご参照ください。
分配方針	<毎月分配型>原則として、毎決算時(毎月15日。ただし、決算日が休業日の場合は翌営業日)に、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から配当等収益等を中心に安定した分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等を勘案して安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。(ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないこともあります。)<年2回決算型>原則として、毎決算時(2月15日および8月15日。ただし、決算日が休業日の場合は翌営業日)に、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から基準価額水準等を勘案して分配金額を決定します。(ただし、委託者の判断により分配を行わないこともあります。)<収益の分配にあてなかつた利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。>

運用報告書に関するお問い合わせ先

モルガン・スタンレー・インバーストメント・マネジメント株式会社
業務部

〒100-8109 東京都千代田区大手町一丁目 9 番 7 号

大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

電話番号：03-6836-5140

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：www.morganstanley.com/im/jp

お客様の取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

Morgan Stanley

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信

(毎月分配型)

(年2回決算型)

運用報告書(全体版)

(毎月分配型)

第126期(決算日 2019年3月15日)

第127期(決算日 2019年4月15日)

第128期(決算日 2019年5月15日)

第129期(決算日 2019年6月17日)

第130期(決算日 2019年7月16日)

第131期(決算日 2019年8月15日)

(年2回決算型)

第22期(決算日 2019年8月15日)

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(毎月分配型)」は、第126期～第131期までの決算、「モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(年2回決算型)」は、第22期の決算を行いましたので当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■最近5作成期の運用実績

作成期	基準価額 (分配落)	標準額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		円	円	%					
第18作成期	102期（2017年3月15日）	5,819	30	△0.3	96.9	—	—	5,022	
	103期（2017年4月17日）	5,555	30	△4.0	96.0	—	—	4,749	
	104期（2017年5月15日）	5,797	30	4.9	96.7	—	—	4,863	
	105期（2017年6月15日）	5,719	30	△0.8	88.5	—	—	4,799	
	106期（2017年7月18日）	5,904	30	3.8	97.2	—	—	4,874	
	107期（2017年8月15日）	5,776	30	△1.7	97.0	—	—	4,708	
第19作成期	108期（2017年9月15日）	5,831	30	1.5	91.9	—	—	4,702	
	109期（2017年10月16日）	5,783	30	△0.3	96.7	—	—	4,634	
	110期（2017年11月15日）	5,627	30	△2.2	96.2	—	—	4,396	
	111期（2017年12月15日）	5,608	30	0.2	97.1	—	—	4,329	
	112期（2018年1月15日）	5,720	30	2.5	97.4	—	—	4,332	
	113期（2018年2月15日）	5,563	30	△2.2	97.7	—	—	4,089	
第20作成期	114期（2018年3月15日）	5,469	30	△1.2	97.7	—	—	3,999	
	115期（2018年4月16日）	5,458	30	0.3	97.3	—	—	3,971	
	116期（2018年5月15日）	5,314	30	△2.1	86.3	—	—	3,845	
	117期（2018年6月15日）	5,129	30	△2.9	86.7	—	—	3,678	
	118期（2018年7月17日）	5,227	30	2.5	96.2	—	—	3,723	
	119期（2018年8月15日）	4,916	30	△5.4	96.2	—	—	3,452	
第21作成期	120期（2018年9月18日）	4,870	30	△0.3	95.8	—	—	3,392	
	121期（2018年10月15日）	4,933	30	1.9	96.1	—	—	3,393	
	122期（2018年11月15日）	5,065	30	3.3	97.2	—	—	3,424	
	123期（2018年12月17日）	5,026	30	△0.2	93.3	—	—	3,366	
	124期（2019年1月15日）	4,906	30	△1.8	96.2	—	—	3,332	
	125期（2019年2月15日）	4,960	30	1.7	96.4	—	—	3,346	
第22作成期	126期（2019年3月15日）	4,966	30	0.7	96.5	—	—	3,323	
	127期（2019年4月15日）	4,963	30	0.5	96.4	—	—	3,308	
	128期（2019年5月15日）	4,719	30	△4.3	96.7	—	—	3,140	
	129期（2019年6月17日）	4,713	10	0.1	96.3	—	—	3,105	
	130期（2019年7月16日）	4,829	10	2.7	97.4	—	—	3,085	
	131期（2019年8月15日）	4,581	10	△4.9	97.7	—	—	2,895	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■ 当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率		
第126期	(期 首) 2019年2月15日	円 4,960	% —	% 96.4	% —
	2月末	5,010	1.0	96.2	—
	(期 末) 2019年3月15日	4,996	0.7	96.5	—
第127期	(期 首) 2019年3月15日	4,966	—	96.5	—
	3月末	4,888	△1.6	96.4	—
	(期 末) 2019年4月15日	4,993	0.5	96.4	—
第128期	(期 首) 2019年4月15日	4,963	—	96.4	—
	4月末	4,868	△1.9	96.4	—
	(期 末) 2019年5月15日	4,749	△4.3	96.7	—
第129期	(期 首) 2019年5月15日	4,719	—	96.7	—
	5月末	4,701	△0.4	96.7	—
	(期 末) 2019年6月17日	4,723	0.1	96.3	—
第130期	(期 首) 2019年6月17日	4,713	—	96.3	—
	6月末	4,781	1.4	96.8	—
	(期 末) 2019年7月16日	4,839	2.7	97.4	—
第131期	(期 首) 2019年7月16日	4,829	—	97.4	—
	7月末	4,830	0.0	97.5	—
	(期 末) 2019年8月15日	4,591	△4.9	97.7	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 金 騰 落	中 率			
18期（2017年8月15日）	円 9,865	円 0	% 1.6	% 97.0	% —	百万円 1,367
19期（2018年2月15日）	9,803	0	△0.6	97.9	—	1,256
20期（2018年8月15日）	8,985	0	△8.3	96.4	—	1,050
21期（2019年2月15日）	9,372	0	4.3	96.6	—	1,024
22期（2019年8月15日）	8,871	0	△5.3	97.9	—	893

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首)	円	%	%	%
2019年2月15日	9,372	—	96.6	—
2月末	9,468	1.0	96.5	—
3月末	9,295	△0.8	96.8	—
4月末	9,315	△0.6	96.9	—
5月末	9,051	△3.4	97.3	—
6月末	9,223	△1.6	97.5	—
7月末	9,334	△0.4	98.2	—
(期 末)				
2019年8月15日	8,871	△5.3	97.9	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

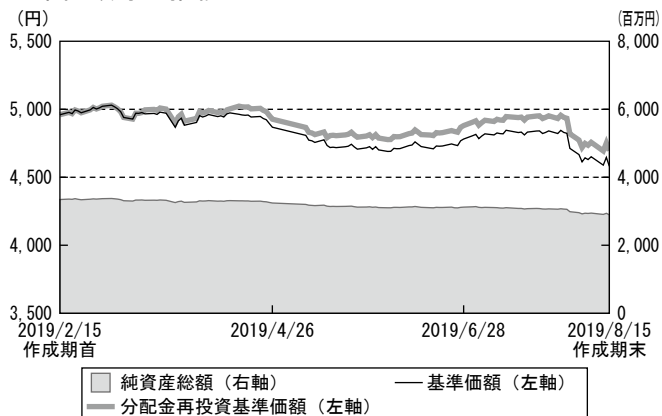
(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■運用経過 (2019年2月16日から2019年8月15日まで)

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (毎月分配型)

基準価額等の推移



第126期首 : 4,960円
第131期末 : 4,581円 (既払分配金120円)
騰落率 : △5.3% (分配金再投資ベース)

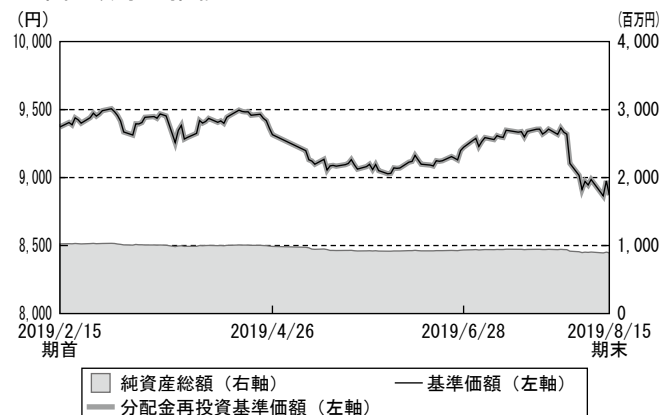
- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、作成期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期は、安定したインカム・ゲインを獲得したものの、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で下落したため、基準価額は下落し、作成期首に4,960円でスタートした基準価額は作成期末には4,591円(第131期分配金10円込み)となりました。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (年2回決算型)

基準価額等の推移



第22期首 : 9,372円
第22期末 : 8,871円 (既払分配金0円)
騰落率 : △5.3% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

基準価額の主な変動要因

当期は、安定したインカム・ゲインを獲得したものの、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で下落したため、基準価額は下落し、期首に9,372円でスタートした基準価額は期末には8,871円となりました。

投資環境

当初は、米国での利上げ休止から利下げへの転換など、先進国主要中銀が緩和姿勢を強化することが景気のサポート要因になると期待され、リスク資産が総じて下支えされる中、高金利通貨についても比較的安定した推移となりました。一方、その後は、トランプ米大統領が中国に対する追加関税を示唆したこと等、米中貿易問題の再燃を受けて、リスク回避的な動きが強まったことで、高金利通貨が全般的に下落する展開となりました。

ポートフォリオ

ポートフォリオの運用においては、マザーファンドへの投資を通じて相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な先進国と新興国の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては各マザーファンドの投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。

(1) 投資通貨について

期首には、マザーファンドへの投資を通じて、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

期首より中長期的な観点からバリュエーションや相対的な金利水準、経済ファンダメンタルズ等の通貨に対する投資魅力度が変化していないと判断し投資通貨の入替を行いませんでした。

《期末の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

(2) 投資債券について

各国の経済動向に注視し、国債を中心に組入れつつ、インカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

分配金

（毎月分配型）

当作成期の収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、1万口当たり第126期30円、第127期30円、第128期30円、第129期10円、第130期10円、第131期10円（作成期中合計120円）とさせていただきます。第131期におけるボーナス分配につきましては見送らせていただきました。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
	(2019年2月16日～ 2019年3月15日)	(2019年3月16日～ 2019年4月15日)	(2019年4月16日～ 2019年5月15日)	(2019年5月16日～ 2019年6月17日)	(2019年6月18日～ 2019年7月16日)	(2019年7月17日～ 2019年8月15日)
当期分配金	30	30	30	10	10	10
（対基準価額比率）	0.600%	0.601%	0.632%	0.212%	0.207%	0.218%
当期の収益	19	20	17	10	10	10
当期の収益以外	10	9	12	—	—	—
翌期繰越分配対象額	30	21	8	18	28	36

（年2回決算型）

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、期中に生じた利子等の分配原資に関しては、収益分配を見送りました。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	当期
	(2019年2月16日～2019年8月15日)
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,712

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の数値は円未満を切捨てているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、マザーファンドへの投資を通じて各マザーファンドの投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な先進国と新興国の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

(1) 市場環境について

米中間での貿易問題等をきっかけに、世界的に景気の先行きに対して不透明感が高まっています。一方、米国を中心に足元の経済環境は比較的堅調なことや、米国での利下げなど、金融政策に関して、先進国の主要中央銀行が緩和姿勢を強めていることがサポート要因となり、今後も景気は安定的に推移することが想定されます。緩和的な金融政策の長期化を背景に、日本や欧州を中心に債券市場の金利水準が過去と比較して非常に低いことから、高金利通貨に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されま

す。新興国に関しては、一部の国において構造改革の進展や、経済ファンダメンタルズのさらなる改善が期待されます。新興国通貨のバリュエーションに関しては、概ね割安な水準であると考えています。一方、米国の貿易政策など外部環境の与える影響により、各国のファンダメンタルズに乖離が生じやすい環境であることから、新興国に関しては投資対象の選別が特に重要であると考えています。

今後も一部の通貨のボラティリティが高まる状況が見られる可能性は残るものの、10通貨に分散することで一部通貨の影響を軽減することが出来ると考えています。加えて、中長期的には高金利通貨への投資により比較的高いキャリーを積み上げることがパフォーマンスの下支えになると期待されます。

(2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。また、組入債券においては、各国の国債を中心に投資し、インカム・ゲインを中心に安定した収益獲得を目指す方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第126期～第131期		項目の概要
	(2019年2月16日～2019年8月15日)		
	金額	比率	
a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	25円 (12) (12) (1)	0.509% (0.241) (0.241) (0.027)	a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	4 (1) (1) (2)	0.078 (0.028) (0.019) (0.031)	b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	29	0.587	

当作成期中の平均基準価額は、4,846円です。

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況（2019年2月16日から2019年8月15日まで）

決算期	第126期～第131期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	6,304	6,676	148,996	155,974
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	6,357	6,676	148,481	155,974

(注) 単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況等（2019年2月16日から2019年8月15日まで）

作成期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細
親投資信託残高

（2019年8月15日現在）

種 類	第 21 作 成 期 末	第 22 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	1,534,885	1,392,193	1,381,195
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	1,613,592	1,471,467	1,503,840

（注1）口数・評価額の単位未満は切捨て。

（注2）当作成期末におけるモルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド全体の口数は1,830,261千口、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド全体の口数は1,918,419千口です。

■投資信託財産の構成

（2019年8月15日現在）

項 目	第 22 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	1,381,195	47.4
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	1,503,840	51.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	26,631	1.0
投 資 信 託 財 産 総 額	2,911,666	100.0

（注1）モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（1,816,303千円）の投資信託財産総額（1,823,672千円）に対する比率は99.6%です。

（注2）モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（1,959,329千円）の投資信託財産総額（1,968,640千円）に対する比率は99.5%です。

（注3）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年8月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=106.05円、1メキシコペソ=5.40円、1ブラジルリアル=26.16円、1ノルウェークローネ=11.81円、1トルコリラ=18.92円、1ポーランドズロチ=27.04円、1オーストラリアドル=71.66円、1ニュージーランドドル=68.29円、100インドネシアルピア=0.75円、1南アフリカランド=6.88円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年3月15日)、(2019年4月15日)、(2019年5月15日)、(2019年6月17日)、(2019年7月16日)、(2019年8月15日)現在

項 目	第 126 期 末	第 127 期 末	第 128 期 末	第 129 期 末	第 130 期 末	第 131 期 末
(A) 資 産	3,350,218,627円	3,332,368,791円	3,164,116,920円	3,120,196,630円	3,111,082,131円	2,911,666,267円
コール・ローン等	16,089,981	16,155,842	16,193,950	16,223,029	16,238,815	16,310,744
モルガン・スタンレー 先進国高 金利通貨マザーファンド(詳価額)	1,626,813,172	1,616,474,718	1,536,241,476	1,508,250,723	1,476,122,627	1,381,195,471
モルガン・スタンレー 新興国高 金利通貨マザーファンド(詳価額)	1,683,828,804	1,675,561,031	1,588,460,374	1,583,622,660	1,604,314,725	1,503,840,286
未 収 入 金	23,486,670	24,177,200	23,221,120	12,100,218	14,405,964	10,319,766
(B) 負 債	26,358,340	24,137,741	23,190,633	14,399,105	25,430,252	16,192,019
未 払 収 益 分 配 金	20,081,686	19,998,619	19,966,717	6,589,773	6,389,625	6,320,003
未 払 解 約 金	3,385,443	987,200	231,120	4,636,120	16,263,447	7,084,240
未 払 信 託 報 酬	2,634,425	2,871,877	2,726,973	2,891,368	2,530,503	2,540,164
未 払 利 息	30	47	42	47	47	41
そ の 他 未 払 費 用	256,756	279,998	265,781	281,797	246,630	247,571
(C) 純資産総額(A-B)	3,323,860,287	3,308,231,050	3,140,926,287	3,105,797,525	3,085,651,879	2,895,474,248
元 本	6,693,895,566	6,666,206,439	6,655,572,368	6,589,773,958	6,389,625,999	6,320,003,837
次 期 繰 越 損 益 金	△3,370,035,279	△3,357,975,389	△3,514,646,081	△3,483,976,433	△3,303,974,120	△3,424,529,589
(D) 受 益 権 総 口 数	6,693,895,566口	6,666,206,439口	6,655,572,368口	6,589,773,958口	6,389,625,999口	6,320,003,837口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,966円	4,963円	4,719円	4,713円	4,829円	4,581円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

- 作成期首元本額 6,746,893,571円
作成期中追加設定元本額 27,371,302円
作成期中一部解約元本額 454,261,036円
- 元本の欠損
貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は3,424,529,589円（第131期末）であります。

■ 損益の状況

第126期 (自2019年2月16日 至2019年3月15日)、第129期 (自2019年5月16日 至2019年6月17日)
 第127期 (自2019年3月16日 至2019年4月15日)、第130期 (自2019年6月18日 至2019年7月16日)
 第128期 (自2019年4月16日 至2019年5月15日)、第131期 (自2019年7月17日 至2019年8月15日)

項 目	第 126 期	第 127 期	第 128 期	第 129 期	第 130 期	第 131 期
(A) 配 当 等 収 益	△1,095円	△1,012円	△1,206円	△1,460円	△1,125円	△1,313円
支 払 利 息	△1,095	△1,012	△1,206	△1,460	△1,125	△1,313
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	26,816,268	21,264,659	△139,072,265	5,668,681	83,332,830	△147,490,498
売 買 益	29,639,549	22,333,110	94,450	14,489,108	84,866,264	467,320
売 買 損	△2,823,281	△1,068,451	△139,166,715	△8,820,427	△1,533,434	△147,957,818
(C) 信 託 報 酬 等	△2,891,229	△3,152,163	△2,992,946	△3,173,165	△2,777,277	△2,787,735
(D) 当 期 損 益 (A+B+C)	23,923,944	18,111,484	△142,066,641	2,494,056	80,554,428	△150,279,546
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△2,740,296,428	△2,717,658,399	△2,708,072,236	△2,831,078,401	△2,748,122,403	△2,644,088,939
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△633,581,109	△638,429,855	△644,540,711	△648,802,315	△630,016,520	△623,841,101
(配 当 等 相 当 額)	(24,434,166)	(19,241,519)	(14,072,228)	(5,891,044)	(5,720,830)	(5,663,554)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△658,015,275)	(△657,671,374)	(△658,612,939)	(△654,693,359)	(△635,737,350)	(△629,504,655)
(G) 計 (D+E+F)	△3,349,953,593	△3,337,976,770	△3,494,679,364	△3,477,386,660	△3,297,584,495	△3,418,209,586
(H) 収 益 分 配 金	△20,081,686	△19,998,619	△19,966,717	△6,589,773	△6,389,625	△6,320,003
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△3,370,035,279	△3,357,975,389	△3,514,646,081	△3,483,976,433	△3,303,974,120	△3,424,529,589
追 加 信 託 差 損 益 金	△638,701,939	△643,582,833	△652,667,165	△648,802,315	△630,016,520	△623,841,101
(配 当 等 相 当 額)	(19,320,257)	(14,094,711)	(5,949,837)	(5,897,990)	(5,722,631)	(5,665,431)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△658,022,196)	(△657,677,544)	(△658,617,002)	(△654,700,305)	(△635,739,151)	(△629,506,532)
分 配 準 備 積 立 金	1,360,337	1,978	28,525	6,078,926	12,719,387	17,400,730
繰 越 損 益 金	△2,732,693,677	△2,714,394,534	△2,862,007,441	△2,841,253,044	△2,686,676,987	△2,618,089,218

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
 (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(損益および剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

第126期計算期間末における費用控除後の配当等収益(12,906,453円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(24,441,087円)および分配準備積立金(3,414,740円)より分配対象収益は40,762,280円(10,000口当たり60円)であり、うち20,081,686円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第127期計算期間末における費用控除後の配当等収益(13,478,960円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(19,247,689円)および分配準備積立金(1,368,659円)より分配対象収益は34,095,308円(10,000口当たり51円)であり、うち19,998,619円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第128期計算期間末における費用控除後の配当等収益(11,861,062円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(14,076,291円)および分配準備積立金(7,726円)より分配対象収益は25,945,079円(10,000口当たり38円)であり、うち19,966,717円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

第129期計算期間末における費用控除後の配当等収益(12,621,134円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(5,897,990円)および分配準備積立金(47,565円)より分配対象収益は18,566,689円(10,000口当たり28円)であり、うち6,589,773円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第130期計算期間末における費用控除後の配当等収益(13,193,521円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(5,722,631円)および分配準備積立金(5,915,491円)より分配対象収益は24,831,643円(10,000口当たり38円)であり、うち6,389,625円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第131期計算期間末における費用控除後の配当等収益(11,099,300円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(5,665,431円)および分配準備積立金(12,621,433円)より分配対象収益は29,386,164円(10,000口当たり46円)であり、うち6,320,003円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

■ 分配金

1 万 口 当 たり 分 配 金 (税 込 込)	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
		30円	30円	30円	10円	10円

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と特別分配金にわかれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が特別分配金、残りの部分が普通分配金となります。
- ・特別分配金が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後個々の受益者の個別元本となります。

■ お知らせ

該当事項はありません。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2019年2月16日～2019年8月15日)		
	金額	比率	
a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	47円 (22) (22) (2)	0.509% (0.241) (0.241) (0.027)	a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	7 (3) (5) (0)	0.078 (0.028) (0.049) (0.001)	b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	54	0.587	

当期中の平均基準価額は、9,281円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況（2019年2月16日から2019年8月15日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	276	287	45,741	48,029
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	246	254	36,197	37,468

(注) 単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況（2019年2月16日から2019年8月15日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細
親投資信託残高

(2019年8月15日現在)

種 類	期 首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	483,531	438,067	434,606
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	482,902	446,951	456,784

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末におけるモルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド全体の口数は1,830,261千口、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド全体の口数は1,918,419千口です。

■投資信託財産の構成

(2019年8月15日現在)

項 目	当 期 末
	評 価 額 比 率
	千円 %
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	434,606 48.4
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	456,784 50.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,319 0.8
投 資 信 託 財 産 総 額	898,709 100.0

(注1) モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,816,303千円）の投資信託財産総額（1,823,672千円）に対する比率は99.6%です。

(注2) モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,959,329千円）の投資信託財産総額（1,968,640千円）に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年8月15日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=106.05円、1メキシコペソ=5.40円、1ブラジルレアル=26.16円、1ノルウェークローネ=11.81円、1トルコリラ=18.92円、1ポーランドズロチ=27.04円、1オーストラリアドル=71.66円、1ニュージーランドドル=68.29円、100インドネシアルピア=0.75円、1南アフリカランド=6.88円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月15日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	898,709,153円
コール・ローン等	1,913,231
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨 マザーファンド(評価額)	434,606,724
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨 マザーファンド(評価額)	456,784,198
未 収 入 金	5,405,000
(B) 負 債	5,392,953
未 払 解 約 金	5,000
未 払 信 託 報 酬	4,909,491
未 払 利 息	4
そ の 他 未 払 費 用	478,458
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	893,316,200
元 本	1,007,037,930
次 期 繰 越 損 益 金	△113,721,730
(D) 受 益 権 総 口 数	1,007,037,930口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,871円

■損益の状況

当期 (自2019年2月16日 至2019年8月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△776円
支 払 利 息	△776
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△45,210,751
売 買 益	1,528,163
売 買 損	△46,738,914
(C) 信 託 報 酬 等	△5,388,029
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△50,599,556
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△40,120,813
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△23,001,361
(配 当 等 相 当 額)	(23,793,312)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△46,794,673)
(G) 計 (D+E+F)	△113,721,730
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△113,721,730
追 加 信 託 差 損 益 金	△23,001,361
(配 当 等 相 当 額)	(23,794,608)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△46,795,969)
分 配 準 備 積 立 金	551,435,598
繰 越 損 益 金	△642,155,967

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

- 期首元本額 1,093,326,727円
 期中追加設定元本額 593,071円
 期中一部解約元本額 86,881,868円
- 元本の欠損
 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は113,721,730円であります。

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(20,675,347円)、費用控除後の有価証券等損益額(一元)、信託約款に規定する収益調整金(23,794,608円)および分配準備積立金(530,760,251円)より分配対象収益は575,230,206円(10,000口当たり5,712円)であるが、基準価額水準、市況動向及び収益分配方針を勘案し、分配を行っておりません。

■分配金

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

■お知らせ

該当事項はありません。

モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド ー第11期ー
決算日 2019年8月15日／計算期間 (2018年8月16日から2019年8月15日まで)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、世界先進主要国の中で相対的に金利水準が高い通貨の中から、為替見通しを勘案して複数の通貨を選定し、当該通貨建ての債券および短期金融商品等に投資を行うことにより、安定したインカムゲインの獲得と中長期的な投資信託財産の成長を目指します。 国別のファンダメンタルズ分析を行い、債券および通貨のバリュエーション分析等に基づいて国および銘柄を選定します。 市況動向、資金動向、投資環境の変化等により、上記のような運用ができない場合があります。
主要運用対象	世界先進主要国の債券および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は、新株予約権付社債等の権利行使により取得した株券等に限り、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■運用経過 (2018年8月16日から2019年8月15日まで)

基準価額の主な変動要因

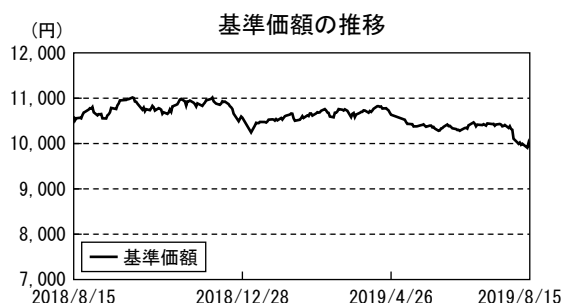
当期は、安定したインカム・ゲインを獲得した一方で、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で下落したため、基準価額は下落し、期首に10,597円でスタートした基準価額は期末には9,921円となりました。

投資環境

米国と中国の間での不透明な貿易交渉の動向を受けて、景気の先行きに対して不透明感が高まり、リスク回避的な動きが強まったことで、高金利通貨は下落する展開となりました。特に、米国においては利上げが見送られ、利下げに転じたこと、貿易面から中国の影響を受けやすいニュージーランドやオーストラリアにおいても利下げが行われたこと等が、通貨の下落要因として意識されました。

ポートフォリオ

ポートフォリオの運用においては、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な先進国の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては先進国通貨の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。



(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

(1) 投資通貨について

期首時には、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

期首より中長期的な観点からバリュエーションや相対的な金利水準、経済ファンダメンタルズ等の通貨に対する投資魅力度が変化していないと判断し投資通貨の入替を行いませんでした。

以上の投資行動の結果、期末時点では、以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行っております。

《期末の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

(2) 投資債券について

国債を中心に組入れつつ、流動性が高く信用力も高いものの、国債よりも高い利回りを有していた国際機関債へ一部投資を行い、より高いインカム・ゲインの収益獲得を目指しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、先進国通貨の投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

(1) 市場環境について

米中間での貿易問題等をきっかけに、世界的に景気の先行きに対して不透明感が高まっています。一方、米国を中心に足元の経済環境は比較的堅調なことや、米国での利下げなど、金融政策に関して、先進国の主要中央銀行が緩和姿勢を強めていることがサポート要因となり、今後も景気は安定的に推移することが想定されます。緩和的な金融政策の長期化を背景に、日本や欧州を中心に債券市場の金利水準が過去と比較して非常に低いことから、高金利通貨に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されま

(2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率			
(期 首) 2018年 8月15日	円		%	%	%
	10,597	—		97.6	—
8月末	10,689	0.9		97.8	—
9月末	10,978	3.6		98.1	—
10月末	10,751	1.5		98.0	—
11月末	10,959	3.4		97.7	—
12月末	10,570	△0.3		97.8	—
2019年 1月末	10,602	0.0		97.7	—
2月末	10,688	0.9		97.6	—
3月末	10,638	0.4		97.5	—
4月末	10,635	0.4		97.3	—
5月末	10,329	△2.5		98.0	—
6月末	10,418	△1.7		98.5	—
7月末	10,323	△2.6		98.1	—
(期 末) 2019年 8月15日	9,921	△6.4		98.2	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2018年8月16日～2019年8月15日)		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	3円 (3)	0.026% (0.025)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務処理に要するその他の諸費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	3	0.026	

当期中の平均基準価額は、10,631円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況 (2018年8月16日から2019年8月15日まで)

公社債

			買付額	売付額
外	アメリカ	国債証券	千米ドル -	千米ドル 787
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ 30,394	千ノルウェークローネ 3,503 (30,470)
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 373	千ポーランドズロチ 2,315
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 5,647	千オーストラリアドル 643 (5,620)
国	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 5,682	千ニュージーランドドル 6,576

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) () 内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2018年8月16日から2019年8月15日まで)

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2019年8月15日現在)

公社債

(A) 債券種類別開示

外国(外貨建)公社債

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千米ドル 3,430	千米ドル 3,411	千円 361,804	% 19.9	% —	% —	% —	% 19.9
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェークローネ 29,000	千ノルウェークローネ 30,327	358,163	19.7	—	—	—	19.7
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 12,340	千ポーランドズロチ 12,912	349,156	19.2	—	—	—	19.2
オーストラリア	千オーストラリアドル 4,960	千オーストラリアドル 4,975	356,565	19.6	—	—	—	19.6
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 5,150	千ニュージーランドドル 5,221	356,596	19.6	—	—	—	19.6
合 計	—	—	1,782,287	98.2	—	—	—	98.2

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

外国(外貨建)公社債

銘 柄	当 期			末		償 還 年 月 日
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ) US TREASURY	国債証券	% 1.125	千米ドル 3,430	千米ドル 3,411	千円 361,804	2020/4/30
小 計					361,804	
(ノルウェー) NORWAY	国債証券	3.75	千ノルウェークローネ 29,000	千ノルウェークローネ 30,327	358,163	2021/5/25
小 計					358,163	
(ポーランド) POLAND	国債証券	5.25	千ポーランドズロチ 12,340	千ポーランドズロチ 12,912	349,156	2020/10/25
小 計					349,156	
(オーストラリア) AUSTRALIA	国債証券	2.75	千オーストラリアドル 4,960	千オーストラリアドル 4,975	356,565	2019/10/21
小 計					356,565	

モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

銘柄	当 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ニュージーランド) NEW ZEALAND	国債証券	% 3.0	千ニュージーランドドル 5,150	千ニュージーランドドル 5,221	千円 356,596	2020/4/15
小 計					356,596	
合 計					1,782,287	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2019年8月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,782,287	% 97.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	41,385	2.3
投 資 信 託 財 産 総 額	1,823,672	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産（1,816,303千円）の投資信託財産総額（1,823,672千円）に対する比率は99.6%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年8月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=106.05円、1ノルウェークローネ=11.81円、1ポーランドズロチ=27.04円、1オーストラリアドル=71.66円、1ニュージーランドドル=68.29円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月15日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,827,204,849円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	19,348,314
公 社 債 (評価額)	1,782,287,437
未 収 入 金	3,553,711
未 収 利 息	21,862,221
前 払 費 用	153,166
(B) 負 債	11,394,681
未 払 金	3,532,280
未 払 解 約 金	7,862,383
未 払 利 息	18
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,815,810,168
元 本	1,830,261,260
次 期 繰 越 損 益 金	△14,451,092
(D) 受 益 権 総 口 数	1,830,261,260口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9,921円

■損益の状況

当期 (自2018年8月16日 至2019年8月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	63,308,080円
受 取 利 息	63,314,654
支 払 利 息	△6,574
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△186,047,218
売 買 益	13,286,265
売 買 損	△199,333,483
(C) 信 託 報 酬 等	△552,063
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△123,291,201
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	131,453,131
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,439,681
(G) 解 約 差 損 益 金	△25,052,703
(H) 計 (D + E + F + G)	△14,451,092
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	△14,451,092

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	2,201,862,071円
期中追加設定元本額	43,757,019円
期中一部解約元本額	415,357,830円
期末における元本の内訳	
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (毎月分配型)	1,392,193,803円
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (年2回決算型)	438,067,457円
期末元本額合計	1,830,261,260円
2. 元本の欠損	
貸借対照表上の純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は14,451,092円であります。	

■お知らせ

該当事項はありません。

モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド ー第11期ー
決算日 2019年8月15日／計算期間 (2018年8月16日から2019年8月15日まで)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、新興国の中で相対的に金利水準が高い通貨の中から、為替見通しを勘案して複数の通貨を選定し、当該通貨建ての債券および短期金融商品等に投資を行うことにより、安定したインカムゲインの獲得と中長期的な投資信託財産の成長を目指します。 国別のファンダメンタルズ分析を行い、債券および通貨のバリュエーション分析等に基づいて国および銘柄を選定します。 市況動向、資金動向、投資環境の変化等により、上記のような運用ができない場合があります。
主要運用対象	新興国の債券および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は、新株予約権付社債等の権利行使により取得した株券等に限り、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■**運用経過** (2018年8月16日から2019年8月15日まで)

基準価額の主な変動要因

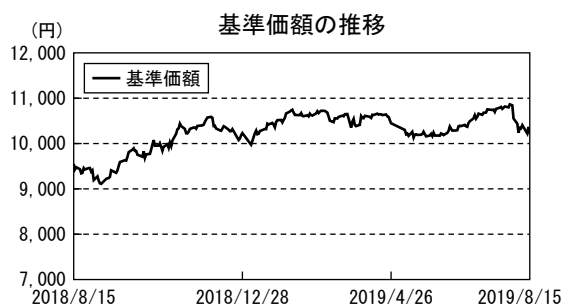
当期は、安定したインカム・ゲインを獲得したことに加えて、為替市場において新興国通貨が平均的に対日本円で上昇したため、基準価額は上昇し、期首に9,551円でスタートした基準価額は期末には10,220円となりました。

投資環境

米国の貿易問題等をきっかけに、ボラティリティが高まりやすい展開となったものの、米国での利上げが休止され、利下げに転じたこと等を背景に、これまでの新興国市場の懸念材料であった米ドル高には徐々に歯止めが掛かると期待され、新興国市場への資金フローが回復したことが全般的なサポート要因となりました。特に、トルコにおいては、大幅利上げによりインフレなど経済環境が徐々に安定を取戻したことで、ブラジルにおいては、新政権が推し進める年金改革法案が、長期的に財政収支を改善させると期待されたことがサポート要因となりました。

ポートフォリオ

ポートフォリオの運用においては、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な新興国の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては新興国通貨の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。



(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

(1) 投資通貨について

期首時には、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

期首より中長期的な観点からバリュエーションや相対的な金利水準、経済ファンダメンタルズ等の通貨に対する投資魅力度が変化していないと判断し投資通貨の入替を行いませんでした。

以上の投資行動の結果、期末時点では、以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行っております。

《期末の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

(2) 投資債券について

各国の経済動向に注視し、国債を中心に組入れつつ、インカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、新興国通貨の投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

(1) 市場環境について

米中間での貿易問題等をきっかけに、世界的に景気の先行きに対して不透明感が高まっています。一方、米国を中心に足元の経済環境は比較的堅調なことや、米国での利下げなど、金融政策に関して、先進国の主要中央銀行が緩和姿勢を強めていることがサポート要因となり、今後も景気は安定的に推移することが想定されます。緩和的な金融政策の長期化を背景に、日本や欧州を中心に債券市場の金利水準が過去と比較して非常に低いことから、高金利通貨に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されます。

新興国に関しては、一部の国において構造改革の進展や、経済ファンダメンタルズのさらなる改善が期待されます。新興国通貨のバリュエーションに関しては、概ね割安な水準であると考えています。一方、米国の貿易政策など外部環境の与える影響により、各国のファンダメンタルズに乖離が生じやすい環境であることから、新興国に関しては投資対象の選別が特に重要であると考えています。

(2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。また、組入れ債券においては、各国の国債へ投資を行いつつインカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指し、各国の金融政策動向を分析することでキャピタル・ゲインからの収益獲得も目指す方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率			
(期 首) 2018年 8月15日	円		%	%	%
	9,551	—		95.4	—
8月末	9,193	△3.7		95.4	—
9月末	9,808	2.7		94.6	—
10月末	10,024	5.0		96.1	—
11月末	10,575	10.7		95.9	—
12月末	10,231	7.1		94.2	—
2019年 1月末	10,567	10.6		94.9	—
2月末	10,702	12.1		95.6	—
3月末	10,383	8.7		96.2	—
4月末	10,447	9.4		96.4	—
5月末	10,176	6.5		96.2	—
6月末	10,492	9.9		96.0	—
7月末	10,855	13.7		97.8	—
(期 末) 2019年 8月15日	10,220	7.0		98.0	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2018年8月16日～2019年8月15日)		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	10円 (9)	0.092% (0.090)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務処理に要するその他の諸費用
(その他)	(0)	(0.003)	
合計	10	0.092	

当期中の平均基準価額は、10,287円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況 (2018年8月16日から2019年8月15日まで)

公社債

			買付額	売付額
外	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 35,772	千メキシコペソ 21,019 (24,755)
	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 14,774	千ブラジルリアル 2,246 (14,403)
	トルコ	国債証券	千トルコリラ 5,358	千トルコリラ 2,860
	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア -	千インドネシアルピア 2,633,470
国	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 22,847	千南アフリカランド 931 (23,470)

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) () 内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2018年8月16日から2019年8月15日まで)

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2019年8月15日現在)

公社債

(A) 債券種類別開示

外国 (外貨建) 公社債

区 分	額 面 金 額	当 期		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	未		
		評 価 額				残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 69,942	千メキシコペソ 70,101	千円 378,549	% 19.3	% —	% —	% 8.0	% 11.3
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 13,303	千ブラジルレアル 14,046	367,443	18.7	18.7	—	—	18.7
ト ル コ	千トルコリラ 23,027	千トルコリラ 22,087	417,896	21.3	21.3	—	2.8	18.5
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 46,620,000	千インドネシアルピア 51,741,206	388,059	19.8	—	—	—	19.8
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 53,600	千南アフリカランド 53,649	369,107	18.8	—	—	—	18.8
合 計	—	—	1,921,056	98.0	40.0	—	10.8	87.2

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

外国 (外貨建) 公社債

銘 柄	種 類	利 率	当 期		未		償 還 年 月 日
			額 面 金 額	評 価 額			
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(メキシコ)		%	千メキシコペソ	千円			
MEXICO	国債証券	8.0	40,982	41,146	222,190		2020/6/11
MEXICO		7.25	28,960	28,955	156,359		2021/12/9
小 計					378,549		
(ブラジル)			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル			
BRAZIL	国債証券	10.0	13,303	14,046	367,443		2021/1/1
小 計					367,443		
(トルコ)			千トルコリラ	千トルコリラ			
TURKEY	国債証券	10.5	6,277	6,142	116,223		2020/1/15
TURKEY		7.4	13,550	13,048	246,880		2020/2/5
TURKEY		9.2	3,200	2,896	54,792		2021/9/22
小 計					417,896		
(インドネシア)			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア			
INDONESIA	国債証券	12.8	46,620,000	51,741,206	388,059		2021/6/15
小 計					388,059		
(南アフリカ)			千南アフリカランド	千南アフリカランド			
SOUTH AFRICA	国債証券	7.25	30,600	30,664	210,970		2020/1/15
SOUTH AFRICA		6.75	23,000	22,985	158,137		2021/3/31
小 計					369,107		
合 計					1,921,056		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2019年8月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	1,921,056	97.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	47,584	2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	1,968,640	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産 (1,959,329千円) の投資信託財産総額 (1,968,640千円) に対する比率は99.5%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年8月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=106.05円、1メキシコペソ=5.40円、1ブラジルレアル=26.16円、1トルコリラ=18.92円、100インドネシアルピア=0.75円、1南アフリカランド=6.88円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月15日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,993,619,780円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	23,325,618
公 社 債(評価額)	1,921,056,284
未 収 入 金	25,086,981
未 収 利 息	24,141,370
前 払 費 用	9,527
(B) 負 債	32,908,853
未 払 金	25,046,447
未 払 解 約 金	7,862,383
未 払 利 息	23
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,960,710,927
元 本	1,918,419,262
次 期 繰 越 損 益 金	42,291,665
(D) 受 益 権 総 口 数	1,918,419,262口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,220円

■損益の状況

当期 (自2018年8月16日 至2019年8月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	167,380,073円
受 取 利 息	167,385,645
支 払 利 息	△5,572
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△14,554,370
売 買 益	128,699,851
売 買 損	△143,254,221
(C) 信 託 報 酬 等	△1,989,887
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	150,835,816
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△101,387,203
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	453,628
(G) 解 約 差 損 益 金	△7,610,576
(H) 計 (D+E+F+G)	42,291,665
次 期 繰 越 損 益 金(H)	42,291,665

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	2,255,771,974円
期中追加設定元本額	45,444,725円
期中一部解約元本額	382,797,437円
期末における元本の内訳	
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (毎月分配型)	1,471,467,991円
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (年2回決算型)	446,951,271円
期末元本額合計	1,918,419,262円

■お知らせ

該当事項はありません。